

2021年、新しい年を迎えました。新春と言っても寒い1月ですが、水仙の花がほのかな春の香りを漂わせています。新しい年が生まれたての春のような優しさに包まれますように祈っています。

今月の主題は「じっくりと」です。子どもたちが心ゆくまで熱中して遊び、一人で、またはお友だちと関わりながら、試行錯誤を繰り返す過程を楽しめるよう見守っていきたいと思います。



年主題 こころが満たされる

年聖句

「喜びと平和とであなたがたを満たす」ローマ 15:13

1月の主題 じっくりと

1月の聖書の言葉

「神は愛です」

ヨハネの手紙 I 4:16

1月の月の願い

- ・聖書の話を中心にとり、イエスさまが共にいてくださる安心と希望の中に生きる。
- ・新しいことにも取り組む中で、試したりコツをつかんだりしながら達成感を味わう。
- ・様々な遊びの面白さを感じる中でことばや数に関心をもつ。

1月の行事予定

- 8日(金) 3学期始まり・午前中保育
- 12日(火) 給食始まり・延長保育始まり
スイミング(ばら・ゆり) 9:10 出発
- 13日(水) お茶(ばら)
- 14日(木) 体操教室(ばらまたはゆり:未定)
- 15日(金) 英語(ばら)
- 19日(火) 職員会議
- 20日(水) 資源回収
- 21日(木) お餅つき・体操教室(ばらまたはゆり:未定)
- 22日(金) 絵本読み聞かせ
- 25日(月) リトミック♪(ちゅうりっぷ)
河村佳保里先生(カウンセラー)来園
教師研修の為延長保育休み
- 26日(火) スイミング(ばら・ゆり) 9:10 出発
オンライン入園説明会(2021年度新入園児)
- 27日(水) お茶(ばら)
- 延長保育休み: 14・19・21・25・28日

○クリスマス献金の16,550円は、キリスト教保育連盟を通して災害被災地に献金させていただきます。ありがとうございました。

○8日(金)は午前中保育です。

降園時間(ご兄弟の場合は上のお子様に合わせて)

- ・たんぽぽ、すみれ 11:30
- ・ちゅうりっぷ、ゆり 11:40
- ・ばら 11:50

○給食・延長保育は12日(火)から始まります。

○21日(木)は餅つきを行います。コロナ禍のため、子ども達だけで行い、ついたお餅は持ち帰る予定ですので、昼食はお弁当をお持たせください。

○25日(月)はカウンセラーの河村佳保里先生が来園されます。お子様のことでご相談がある方はお申し出ください。尚、教師研修の為延長保育は休みます。



2月の予定

- オンライン誕生会(1, 2, 3月生まれ)
- 16日(火) ばらオンライン誕生会
- 17日(水) ゆりオンライン誕生会
- 18日(木) ちゅうりっぷオンライン誕生会
- 19日(金) すみれ・たんぽぽオンライン誕生会
- オンライン保育参観とお茶会
- 2月はゆり組、ばら組の体操教室、ばら組の英語、ちゅうりっぷ組のリトミック等、外部講師教室のオンライン参観を予定しています。
- ばら組のお茶のおけいこはお母様方をお招きして「お茶会」を行う予定です。
- オンライン配信や、お茶会の日程は後日お知らせします。

3月の予定

- 7日(日) 卒園礼拝: 武生自由キリスト教会(ばら)
- 19日(金) 卒園式(すみれ・たんぽぽ組休み)



1月の礼拝

月主題「じっくりと」

1月主題聖句「神は愛です」(ヨハネの手紙I 4章16節)

解説：神は愛です

『神は愛です』とは、神の内側、人格的な特徴を示しています。「神は愛です」という言葉も、決して一般論ではなく、神は、他ならぬあなたを愛しておられる、あなたのことを気にかけてくださる、あなたが大事だと言ってくださっているということなのです。これは驚くべきことです。

自分を愛する

主イエスは、「自分を愛するように、あなたの隣り人を愛せよ」(マタイ 22:39 口語訳聖書)と言われました。「自分を愛する」とは、自分中心に考える利己的な態度のことではありません。自分を愛するとは、神に愛されている者としての自分を受け入れることです。しかし、自分をありのまま受け入れることが、なかなか難しいのです。私たちの心には、暗い秘密の部分がひそんでいます。消しゴムで消せるものなら決して消してしまいたいような過去の失敗や過ち。あるいは過去であれ、また現在であれ、人に知られては困るような恥ずかしい、隠しておきたい部分を持っています。そうした秘密の部分をも含めたありのままの自分を、私たちはなかなか受け入れることができません。いつまでも悔んだり、自己憐憫に陥ったりします。そして、「このような自分ではとても神さまに受け入れていただけない、『良い子』にならなければ、神さまには受け入れてもらえない」というような理解があると思うのです。しかし、それは神を誤解しています。聖書はこう宣言します。「わたしが神を愛したのではなく、神がわたしを愛して、わたしの罪を贖ういけにえとして、御子をお遣わしになりました。ここに愛があります」(ヨハネの手紙I 4:10)。さらに「わたしたちが愛するのは、神がまずわたしたちを愛してくださったからです」(4:19)とあります。キリスト教の信仰の土台は、人間に対する神の側の一夫的な愛です。「まず私たちが」なのではなく、「神がまず」なのです。

隣人を愛する

正しい意味で「自分を愛する」ことができるとき、私たちは「隣人を愛する」こともできるようになります。自分に対する神の愛が、隣人にも同様に注がれていることを知るからです。神に愛されている者として隣人

を認めること、これが「自分を愛するように隣人を愛しなさい」という言葉の基本です。自分がその人を好きかどうかに関係なく、神はその人を愛しておられる、大事だと言っておられるということを受け入れることです。ここでも「神がまず」という視点が大切なのです。

キリスト教保育の使命

子どもたちが、自分という存在が条件なしで愛されていると感じることができること。これがキリスト教保育がめざすことなのです。

(「キリスト教保育」誌1月号要約・抜粋)



寒さが厳しくなってきますが、なるべく薄着にしたいと思います。幼稚園内は暖かいので(18度~20度)、毛糸の重ね着やフリース、ヒートテックの長袖下着は適しません。汗をかきますので、思い切って一枚薄くして下さい。

尚、たんぽぽ・すみれ組はタイツやスパッツはご遠慮ください。自分で着られるようにトレーニング中ですので、見た目より履きやすいズボン等機能性重視でお願いします。

衣類、ジャンパー、スキーウエア等すべてに名前の記入をお願いします。

雪遊び用に、たんぽぽ・すみれ・ちゅうりっぷ組のお子様と、丈の短い長靴等の場合は足カバーをご準備ください。

手袋は毛糸のひもでつなげていただくようにお願いします。

